

古いけれども古びない、歴史があるから新しい。

古鏡清玩

宋明代の文人と青柳種信

岡村秀典——人文科学研究所教授

李漁の「モノ」がたり

『閒情偶寄』居室・器玩部より

高井たかね——人文科学研究所助教

利他と慈悲のかたち

松本文三郎の仏教美術観

稲本泰生——人文科学研究所准教授



第10回 京都大学人文科学研究所 TOKYO 漢籍 SEMINAR

# 清玩

せいがん

——文人のまなざし

2015年3月16日[月]

10:30~16:00 / 聴講無料・要申込み  
会場 / 一橋大学一橋講堂中会議場

(千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

申し込み/問合せ先

聴講ご希望の方は、「漢籍セミナー申込み」と明記し、氏名・所属・連絡先（住所・電話番号・E-mail アドレス）をご記入の上、下記宛先までハガキもしくはE-mail または FAX でお申込みください。折り返しハガキにて参加の可否についてのご連絡をさしあげます。

京都大学人文科学研究所 〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町 47  
附属東アジア人情報学研究所センター 電話 075-753-6997 FAX 075-753-6999  
E-mail kanseki-tokyo@zinbun.kyoto-u.ac.jp

○詳しくは裏面をご覧ください。



# 清玩

せいがん

## — 文人のまなざし —

### ●今回の概要

中国の文化にはぐくまれた「文人」たちは、古器古物など、かたちあるものを愛好し鑑賞する一面をもっていました。そのような鑑賞のことを「清玩」と呼びます。

今回の漢籍セミナーでは、書物の世界から少しばかり離れて、中国宋代の文人から日本近代の文人にいたるまで、文人と文物との関わりを三名の講演者がそれぞれの角度からお話いたします。

文人は文物に対して、どのような「まなざし」をそそいだのか。それを手がかりとして、ものをたのしみ味わう人々の姿や、彼らの鑑賞を支えていたものの見方をご紹介します。

### ●参加定員／200名(申込み順)

\*定員を超えた場合はお知らせします。

### ●プログラム

司会 古勝隆一(人文科学研究所准教授)

10:30~10:45 ◎開会挨拶 東アジア人文情報学研究センター長 富谷 至

10:45~12:00 ◎講演  
古鏡清玩—宋明代の文人と青柳種信  
京都大学人文科学研究所 教授 岡村秀典

12:00~13:10 ◎休憩

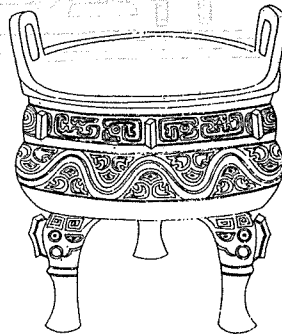
13:10~14:25 ◎講演  
李漁の「モノ」がたり—「閒情偶寄」居室・器玩部より  
京都大学人文科学研究所 助教 高井たかね

14:25~14:40 ◎休憩

14:40~15:55 ◎講演  
利他と慈悲のかたち—松本文三郎の仏教美術観  
京都大学人文科学研究所 准教授 稲本泰生

15:55~16:00 ◎閉会挨拶

\*講演時には質疑応答時間を含みます

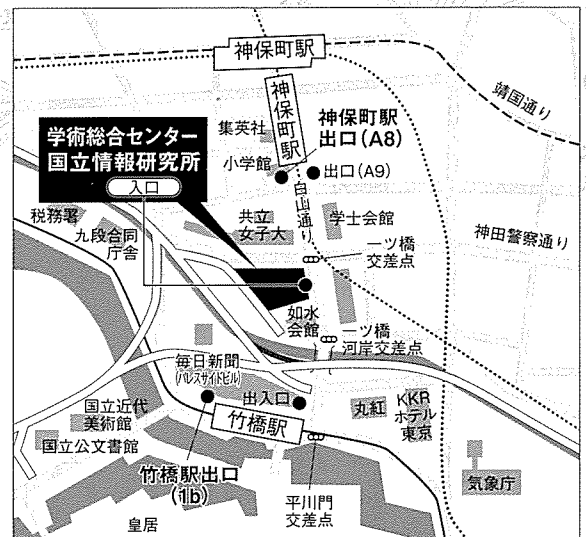


### ●会場／一橋大学一橋講堂中会議場

(千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

#### ■会場への交通機関

- ・東京メトロ 半蔵門線、都営地下鉄 三田線・新宿線「神保町駅」A8 出口より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「竹橋駅」1b 出口より徒歩5分



--- 都営新宿線    ..... 東京メトロ半蔵門線    ——— 高速道路  
..... 都営三田線    ——— 東京メトロ東西線

### ●問合せ先

京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター  
TEL.075-753-6997